

畜産科学科1年 初めての実習

畜産科学科「農業と環境」の授業で、新1年生初となる実習を行いました。実習内容は、その日の朝に届いた採卵鶏の雛の餌付けと飲水です。生後1日の雛は、まだ水の飲み方や餌を理解しにくいいため、教えてあげることが大切です。からだを落とさないように気をつけながら優しく持ち、くちばしに水、そして餌を近づけ、覚えさせてから育雛器に移します。

新1年生たちは、かわいいひよこたちを見て笑顔が溢れましたが、暴れる雛を扱う際の力加減に気をつけて押さえながら作業することに手間取っていました。しかし、繰り返し行ううちにコツを覚えてきたようで、段々と手際が良くなっていきました。

雛たちも新1年生も立派に成長してほしいですね。

